

静岡県富士山世界遺産センター展示棟

逆さ富士 UPSIDE DOWN FUJI
WOOD GRID PROJECT

木格子もくごうし



お問い合わせ先

富士地区林業振興対策振興協議会

富士市、富士宮市、富士市森林組合、富士森林組合、
富士宮木材協同組合、富士ひのき加工協同組合、
林野庁静岡森林管理署、静岡県森林組合連合会富士事業所、
一般社団法人富士建築士会、静岡県富士農林事務所

フジヒノキメイド有限責任事業組合

〒417-0801 静岡県富士市大淵2392-1

TEL:0545-67-3650 FAX:0545-67-3651

E-mail: fujihinoki_made@fuji-hinoki.jp

<http://www.fuji-hinoki.jp>



ひとつひとつ形の違う約8,000ピースの部材

木格子は、丸太約4,385本・材積670m³が、緻密に計算された約8,000ピース・材積74m³の部材に加工され、組み上げられています。

静岡県富士山世界遺産センター展示棟の『逆さ富士』を模した木格子(もくごうし)は、富士山麓の富士市・富士宮市で育まれた地域ブランド材FUJI HINOKI MADE(フジヒノキメイド)を使用しSGEC/PEFC CoCプロジェクト認証の国内第1号に認定されました。

SGEC/PEFC CoCプロジェクト認証 参加メンバー

富士市森林組合、富士森林組合、静岡県森林組合連合会富士事業所、富士宮木材協同組合、富士ひのき加工協同組合、一般社団法人富士建築士会、静岡県富士農林事務所、(株)ランバーリングカソマタ、影山木材(株)、日本製紙木材(株)関東支店富士営業所、静岡県文化・観光部文化局世界遺産センター整備課、(有)植松林業、(株)白糸植物園、佐藤工業・若杉組特定建設工事共同企業体、(株)シェルター、協同組合東濃ひのきの家、院庄林業(株)富士宮工場 岡山工場、(有)シンセイ・テクノトラスト、(株)ふもとつばら、富士市、富士宮市

JIA 認証番号 JIA-P001
 認証事業者名 富士地区林業振興対策協議会
 認証年月日 2017.7.18
 認証事業者住所 静岡県富士市
 認証対象プロセス 静岡県富士山世界遺産センター展示棟木格子プロジェクト
 審査規格
 SGEC-CoC 認証ガイドライン(2016年1月1日発行)
 SGEC特定プロジェクトのCoC認証に関するガイドライン(2015年4月1日発行)
 PEFC ST2002:2013(2015年12月7日発行)

外部木格子

建物外側の木格子は、14cm角の富士ヒノキの角材から3次元(曲線・ひねり)加工により12cm角に削り出した部材で組みられています。また、耐久性を高めるため、超耐候性木材撥水剤が塗布されています。

建物内側の木格子は、9cm角の富士ヒノキの角材に、不燃加工を施した板材(3cm厚)を4面に貼った15cm角の角材から、12cm角の角材を削り出しています。

内部木格子

完成までの流れ



SGEC認証の森



伐採木を製材所へ



静岡県で製材後、山形県にて部材削り出し加工



部材組み上げ

SGEC/PEFC CoCプロジェクト認証とは?

SGECは、国際的な森林認証機関PEFCに加盟する認証機関の一つ。森林認証制度は、違法伐採や森林荒廃などを防ぎ、適正な森林管理や加工、流通を経た木材で作られた国際基準の認証。プロジェクト認証は、事業者を認証するのではなく、建設・製造されるプロジェクト(建築物、構造物など)そのものの自体を認証するしくみです。



富士ヒノキは、霊峰富士の南斜面で潤沢な太陽光と降雨により育ち、富士山麓の自然と景観を構成している森林から生産される木材です。火山灰土壌で育つため成長が緩やかで木目が細かく強度があります。

FUJI HINOKI MADE 製品は、厳密な審査により認定された工場で製造されたしずおか優良木材製品品質規格基準、JAS 同等品の品質です。

富士ヒノキを取扱った感想

富士ヒノキは、富士山麓の比較的なだらかな斜面で育つため伐採・搬送しやすく、安定供給が可能でコスト面でも扱い易いものでした。この木格子は、当社が日本で初めて実用化した、三次元加工機による「削り出し」で製作しました。富士ヒノキは木目がつんでおり、強度・含水率ともに構造部材として使われるほど高品質であることから「削り出し」に最適な材料であると感じました。

木格子設計・製造・施工
 株式会社シェルター
 営業部マネージャー 孫田正義 氏